

会 議 録

会 議 名	令和 6 年度第 5 回野田市児童福祉審議会
議 題 及 び 議 題 ご と の 公 開 又 は 非 公 開 の 別	[議題] (1)第 4 回野田市児童福祉審議会 書面審議結果について（報告）（公開） (2)野田市こども計画（素案）に対する意見募集の結果について（公開） (3)野田市こども計画の策定について（答申）（公開） (4)保育施設の確認に係る利用定員の設定について（公開） (5)乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）の認可について（公開）
日 時	令和 7 年 2 月 1 3 日（木） 午前 1 0 時 0 0 分から午前 1 0 時 5 0 分まで
場 所	野田市役所高層棟 8 階 大会議室
出 席 委 員 氏 名	会 長 小林 幸男 副会長 森田 邦子 委 員 川鍋 友江、篠塚 功、中野 由紀子、渡辺 竜太、 深井 祐輔、古橋 和夫、遠藤 恵美子、米田 博、 川村 岩
欠 席 委 員 氏 名	委 員 瀧川 雅子、豊田 沙紀、鈴木 直人、岡田 一芳、 小倉 幸雄、荒巻 幸子、古屋 真由美、藤本 司、 小熊 良
事務局氏名	今村 繁（副市長）、代田明洋（健康子ども部長）、中村正則（企画財政部次長兼企画調整課長）、池田亜由美（健康子ども部次長兼子ども家庭総合支援課長）、安藤剛行（生涯学習部参事兼生涯学習課長）、小嶋 亮（人事課長）、寺田政司（営繕課長）、須賀良平（市民生活課長）、川嶋文和（商工労政課長）、茂木嘉則（みどりと水のまちづくり課長）、茂木 大介（スポーツ推進課長）、海老原純一（生活支援課長）、岡田勇貴（障がい者支援課長）、武田真弓（人権・男女共同参画推進課長）、内田一也（児童家庭課長）、宮下幸治（子ども保育課長）、峯崎光春（保健センター長）、大久保崇雄（教育総務課長）、加藤純子（興風図書館長）、廣居信和（学校教育課長）、間々田英示（指導課長）、田中 洋介（福祉部主幹）、龍野 淳（学校教育部主

		幹兼子ども家庭総合支援課分室長）、西野寛史（情報政策課長補佐）、原田陽子（防災安全課長補佐）、山崎正浩（児童家庭課長補佐）、秋鹿弥由紀（保健センター長補佐兼子どもの発達相談室長）、小澤映典（市政推進室副主幹）、岡田尚子（児童家庭課児童給付係長）、西山修一（児童家庭課子育て支援係主査）
傍 聴 者		3名
議 事		会議結果（概要）は次のとおりである。
司 会		令和7年2月13日午前10時、令和6年度第5回野田市児童福祉審議会の開会を宣言した。
		会議の成立及び公開について報告した。
		会議録作成のための録音及び傍聴について了承を得た。
		会議資料について説明した。
会 長		議題1 第4回野田市児童福祉審議会 書面審議結果について（報告）
		事務局からの説明を求める。
子ども保育課長		<事務局説明>
会 長		説明があった内容について、各委員に質疑及び意見を求める。
		<質疑・意見無し>
会 長		質疑・意見がないので、次の議題に移る。
		議題2 野田市こども計画（素案）に対する意見募集の結果について
		事務局からの説明を求める。
児童家庭課長		<事務局説明>
会 長		説明があった内容について、各委員に質疑及び意見を求める。
		<質疑・意見無し>
会 長		質疑・意見がないので、次の議題に移る。
		議題3 野田市こども計画の策定について（答申）
		児童福祉審議会から副市長に答申した。
		答申書の写しを委員に配布した。
会 長		議題4 保育施設の確認に係る利用定員の設定について
		事務局からの説明を求める。

子ども保育課長	＜事務局説明＞
会 長	説明があった内容について、各委員に質疑及び意見を求める。
渡 辺 委 員	保育需要が依然として高止まりしている中で、今回新たに保育所の定員が増加したことは評価できる。一方で「保育所に入れなかった」という保護者からの声も寄せられていることから、保育ニーズの状況について教えていただきたい。
子ども保育課長	令和7年4月入所の申込み状況については、前年度を上回る数の申込みがあった。一次申込みで入所が決定しなかった方は、二次調整やあっせんを行う流れとなる。今回、野田北部幼稚園が認定こども園化したことで、0歳から2歳児の受入れ枠が拡充したことから、二次調整やあっせんの場面において新たな受入れ枠を活用し、保育ニーズに対応していきたいと考えている。
会 長	ほかに質疑、意見があるか伺う。
会 長	＜質疑・意見無し＞
会 長	ほかに質疑・意見がないので、次の議題に移る。
子ども保育課長	議題5 乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）の認可について
会 長	事務局からの説明を求める。
会 長	＜事務局説明＞
渡 辺 委 員	説明があった内容について、各委員に質疑及び意見を求める。
副 市 長	＜質疑・意見無し＞
	質疑・意見がないので、「その他」として、各委員に質疑及び意見を求める。
	福田地区の義務教育学校について、先進的な取り組みであり義務教育学校を中心としたまちづくりに変わっていくのかと楽しみにしている。福田地区に義務教育学校ができることで、今後、福田地区がどのように変化していくと考えているのか。
	義務教育学校については、積極的に設置を進めるものではなく、地域のこどもたちが減少しており、中学教育を行うには限界との声があったことから、どのようなかたちが良いか検討を重ね

渡 辺 委 員	た結果、最良のかたちが義務教育学校となったものである。義務教育学校でどのような教育を行うのか、どのような特色を出していくのか検討を開始した。廃校となる福田第一小学校と二ツ塚小学校をどうするかも未定である。地域コミュニティの中核であり避難所の役割も担っていることから、今後地域の活性化にどのように生かしていけるのか検討していきたいと考えている。
健康子ども部次長	就学前のこどもたちの預け先について、義務教育学校との連携などどのように考えているのか。
渡 辺 委 員	福田地区にある聖華保育園内に子育て支援センターを開設している。今後も子育て支援センターを中心に、地域の未就学児の子育て支援を推進していきたいと考えている。
副 市 長	新しい学校給食センターの整備が進められているが、近年、食育の考え方や取り組みも大きく変化していると感じている。食育を推進していく取り組みがあれば教えていただきたい。
会 長	学校給食センターについては、基本的には老朽化に伴う建て替えである。提供範囲内の学校や幼稚園については、センター内で炊飯した米飯を搬送するかたちを考えている。自校式の給食室も老朽化が進んでおり課題である。東部中学校と東部小学校においては親子方式を導入した。南部小学校も児童数が多いため建て替えを進めている。物価高騰により材料費が上昇しているが、国の交付金を活用することで、値上がり分が保護者負担とならないようにしている。食育については非常に重要と認識しており、地産地消の推進の観点から、市内で献立の統一を図る「統一給食」の導入についても検討を進めている。
会 長	ほかに質疑、意見があるか伺う。 ＜質疑・意見無し＞ ほかに質疑・意見がないので、以上をもって全て議題が終了した。 議事終了につき、議長の任を解く。 午前 10 時 50 分、閉会を宣言した。